第15回

島原市農業委員会総会議事録

平成24年8月27日

第15回 島原市農業委員会総会

1. 開会日時 平成24年8月27日(月) 14時00分
2. 閉会日時 平成24年8月27日(月) 14時28分
3. 開催場所 有明庁舎 3階大会議室
4. 出席委員者の数 25名 欠席者 6名
5. 議案
第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請について
第2号議案 農地法第4条の規定による許可申請について
第3号議案 農地法第5条の規定による許可申請について
第4号議案 非農地証明願について
第5号議案 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画(案)について

報告事項 合意解約及び使用貸借解約通知書について

14時00分開始

議長

只今より、第15回島原市農業委員会の総会を開催します。

本日、2番委員、5番委員、6番委員、14番委員、21番委員、9番委員は所要の為、欠席との連絡がっております。

出席委員は、31名中25名で定足数に達しておりますので総会は成立しております。

議事録署名委員の指名につきましては、島原市農業委員会会議規則 第15条第2項の規定により、議長が指名することになっており、30番委員、3番委員を指名します。

議長

第1号議案、農地法第3条第1項の規定による所有権移転の許可申請の1番から3番までを上程します。

事務局の説明を求めます。

事務局

第1号議案、1番の譲請人は、経営規模拡大するため、畑1，937平方メートルを購入するための申請です。

耕作面積は、3，745平方メートルで、農機具は、トラクター、動噴、管理機の農業機械器具を所有しており、すべての許可要件を満たしております。

2番の譲受人は、畑471平方メートルを購入するための申請です。

耕作面積は、15，444平方メートルで、農機具は、トラクター、草刈り機等の農業機械器具を所有しており、すべての許可要件を満たしております。

3番の譲受人は、親からの生前一括贈与を受けるための申請です。

耕作面積は、6，454平方メートルで、農機具は、トラクター、管理機、動噴を所有しており、すべての許可要件を満たしております。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

1番については、私が現地調査員となっていますので調査結果を報告します。

1番について、譲受人は、農家で15年の農作業歴があります。妻と2人で農業を営んでおり、甘藷^{かんしょ}等を作付けされています。申請地までの通作距離は300メートルということで問題ありません。

現地調査員

2番について、自己所有地の隣接農地ということで問題ありません。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

現地調査員

3番について、譲受人は、兼業農家で25年の農作業歴があります。妻、両親の4人で農業を営んでおり、人参等を作付けされています。

今回の申請は父からの生前一括贈与ということで問題ありません。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

第1号議案の1番から3番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、許可することに異議ありませんか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第1号議案の所有権移転は許可することに決定します。
第2号議案、農地法第4条の規定による許可申請の1番を上程します。
事務局の説明を求めます。

事務局

第2号議案、農地法第4条の規定による許可申請の1番の申請人は、申請地752平方メートルに、木造平家建農家住宅93.14平方メートルを建築したいとのことです。
申請地は農業振興地域内の農用地外で、10畝以上の一団の農地の区域外にあることから、第2種農地になります。
被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

1番の申請地は、東側は道路、北側は宅地、南側及び西側は農地となっております。
現状のまま利用し、土留め工事をするため、土砂流失の恐れはなく、雨水排水は自然流下、汚水及び生活雑排水は、合併浄化槽を経由して道路側溝へ放流ということで問題ないと見て参りました。
ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、1番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第2号議案、農地法第4条の規定による許可申請の1番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

次に、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請の1番を上程します。

事務局の説明を求めます。

事務局

1番の使用貸人は、申請地309平方メートルに、木造平家建住宅106.68平方メートルを建築したいとのことです。

申請地は、都市計画区域内の準工業地域で、第3種農地になります。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

1番の申請地は、南側は道路、東側は宅地、西側は農地、北側は水路を挟んで農地となっております。

現状のまま利用し、雨水排水は道路側溝、汚水及び生活雑排水は、合併浄化槽を経由して道路側溝へ放流ということで問題ないと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、1番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請の1番

は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

次に、2番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

2番の譲受人は、申請地469平方メートルを譲り受け、木造平家建住宅102.84平方メートルを建築したいとのことです。

申請地は、都市計画区域内の用途未指定区域の農地で、住宅が連たんしていることから、第3種農地になります。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

2番の申請地は、南側は道路、東側及び北側は河川、西側は宅地となっております。

切土及び盛土を行い、高低差がつくところは石積を新設、雨水は溜桝を經由して河川、汚水及び生活雑排水は、合併浄化槽を經由して河川へ放流ということで問題ないと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、2番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請の2番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

次に、3番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

3番の譲受人は、申請地56平方メートルを譲り受け、譲受人が住んでいる土地への入口にしたいとのことです。

申請地は、都市計画区域内の第1種低層住居専用地域内にあることから、第3種農地になります。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

3番の申請地は、南側は道路、東側及び北側は宅地、西側は農地となっております。

現状のまま利用するというので、問題ないと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、3番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請の3番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

次に、4番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

4番の譲受人は、申請地3.89平方メートルを譲り受け、譲受人所有アパートの排水路として利用したいとのことです。

申請地は、都市計画区域内の第1種低層住居専用地域内にあることから、第3種農地になります。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

4番の申請地は、南側は道路、東側及び西側は農地、北側は宅地となっております。
現状のまま排水路として利用するというので、問題ないと見て参りました。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、4番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請の4番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

次に、5番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

5番の譲受人は、申請地1, 084平方メートルを譲り受け、木造平家建住宅兼店舗203.38平方メートル並びに大工作業場及び車庫107.69平方メートル建築したいとのことです。

申請地は、農業振興地域内の農用地以外の農地で、10畝以上の一団の農地の区域外にあることから、第2種農地になります。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

5番の申請地は南側及び西側は農地、東側は道路、北側は宅地となっております。
切り土を行うため、コンクリート擁壁を築造し、雨水は水路放流、汚水及び生活雑排水

は合併浄化槽を經由して道路側溝へ放流となり問題ないと見て参りました。
ご審議のほど、よろしくお願ひします。

議長

只今、現地調査員より報告がありました、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、5番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請の5番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定します。

次に、第4号議案非農地証明願の1番を上程します。

事務局の説明を求めます。

事務局

第4号議案、非農地証明願の1番について、申請地は、農業振興地域内の農用地外で、昭和25年月日不詳頃から、山林として使用しているとのことです。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

1番の申請地は、南側及び西側は山林、北側は道路、東側は宅地となっております。
現状を見ると大木が覆い茂り、非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。
ご審議のほど、よろしくお願ひします。

議長

只今、現地調査員より報告がありました、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第4号議案の1番は非農地証明書を交付してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第4号議案1番は非農地証明書を交付することに決定します。

次に、非農地証明願についての2番を上程します。

事務局の説明を求めます。事務局。

事務局

第4号議案、非農地証明願の2番について、申請地は、都市計画区域内の用途未指定区域で、昭和44年月日不詳頃及び昭和58年月日不詳頃から、納屋及び倉庫を建築し宅地として使用しているとのことです。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

2番の申請地は、南側は水路、東側及び北側は農地、西側は農地及び宅地となっております。

現状を見ると20年以上前に建築された納屋等が建っており、非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしくをお願いします。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第3号議案の2番は非農地証明書を交付してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

異議なしと認めます。よって、第3号議案2番は非農地証明書を交付することに決定します。

次に、非農地証明願についての3番を上程します。

事務局の説明を求めます。

事務局

第4号議案、非農地証明願の3番について、申請地は、都市計画区域内の第1種低層住居専用地域内で、平成3年月日不詳頃から露天駐車場として利用しているとのことです。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

3番の申請地は、南側は道路、東側は宅地、西側は通路、北側は雑種地及び宅地となっております。

現状を見ると露天駐車場として利用されており、非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしくお願いします。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第4号議案の3番は非農地証明書を交付してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第4号議案3番は非農地証明書を交付することに決定します。

次に、非農地証明願についての4番を上程します。
事務局の説明を求めます。

事務局

第4号議案、非農地証明願の4番について、申請地は、農業振興地域内の農用地外で、平成元年12月30日頃から住宅用地として利用しているとのことです。

議長

只今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いします。

現地調査員

4番の申請地は、南側及び西側は農地、東側は道路、北側は宅地となっております。

現状を見ると境界を一直線にすることにより宅地として利用されており、非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしくをお願いします。

議長

只今、現地調査員より報告がありましたが、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第4号議案の4番は非農地証明書を交付してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第4号議案4番は非農地証明書を交付することに決定します。

第5号議案、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画(案)について上程します。

事務局の説明をお願いします。

事務局

第5号議案、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画（案）について説明します。

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、農用地利用集積計画（案）の承認を得ようとするものであります。

耕作権の新規設定	4件	24筆	20,961.00㎡
耕作権の再設定	12件	22筆	23,143.00㎡
合計	16件	46筆	44,104.00㎡

です。

次に、農業経営基盤強化促進法による所有権移転については、7ページに記載のとおりで、2件 3筆 2,837㎡です。

議長

ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はありませんか。

（「なし」という発声）

議長

ご意見等がありませんので、農用地利用集積計画（案）を承認することに決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」という発声）

議長

ご異議がないようですので、第5号議案は承認することに決定します。

次に、農地法第18条の合意解約通知書、使用貸借解約通知書については、8ページに記載のとおりですので報告します。

これで、第15回島原市農業委員会総会を閉会します。

14時28分